

森嶋、僧侶になるってよ

～元サラリーマン僧侶への道～その3



浄土真宗のご本尊は「阿彌陀如来」という事を、善称寺に来てはじめて知りました。「真宗と真言宗って違うの？」仏教に関してその程度の知識でしたので(でも、そんな方がほとんどではないでしょうか)、僧籍取得の得度試験に向け、日々勉強しております。阿彌陀様は、老若男女、善人、悪人問わず全ての衆生を救う仏様と言われています。平等で素敵な仏様だなと思いました。「救う」というのは具体的にいうと、「全てのものを浄土へ連れていってくれる(生まれさせてくれる)」。しかも「ただちに」＝「亡くなったその瞬間に」です。すなわち地獄へ行く心配が無いのです。あれ？善人であれば「浄土行き」、悪人であれば「地獄行き」とずっと思ってたけど、悪人でも浄土に連れていってくれるんだと思いますよね。浄土真宗の開祖「親鸞聖人」の語録ともいえる「歎異抄」の一節には、「善人なほもつて往生もどぐ。いはんや悪人をや。」という言葉があります。「善人でさえ浄土に往生することができる。まして悪人は言うまでもない。」という意味なのですが、常識的に考えるとますます理解できません。実は、ここぞという悪人とは「煩惱だらけの人間」のことで、何も隠さずこの「わたし」なのです。まさか自分が悪人だったとは...。それなりに「善い人」として生きてきたつもりですが、よくよく考えれば「もっと評価されたい、上を目指したい」とむさぼり、思うように物事が進まなかつただけ腹も立て、苦しい事があると「どうして自分が？」と嘆いたり...でも、そんな煩悩まみれで自己中心の「わたし」こそ、阿彌陀さまの救いの目当てなのです。そう理解した時に「ああ、なんてありがたいんだ。なんなんだぶ。」と思いました。それ以来「こんなわたし」だけど、できるだけ一生懸命生かしてもらおう。そう思った次第です。なんなんだぶ＝南無阿彌陀仏。お念仏の事ですが、これについては次回お話ししたいと思います。



浄土真宗の阿彌陀仏は前傾して近づく。仏様の方からこちらへ近づいて来て下さるので、

和歌山児童家庭支援センター

きずな

パンフレットお寺に置いてます

子どもと家庭の困りごと何でも聞かせてください

ひとりで悩まずに、一緒に考えていきましょう!

<p>子どもの悩み</p> <p>かまふこと 友達のこと 学校のこと いじめのこと 性被害のこと その他...</p>	<p>親の悩み</p> <p>育児のこと 子どもの発達 しつけや躾のこと 育児・子育ての悩み 子育てで 疲れていること</p>	<p>地域の悩み</p> <p>地域に子どもの居場所がある 遊ばせてくれる場所がある 一緒に遊んでくれる子どもがいる 一緒に遊ぶ場所がある</p>
--	--	--

和歌山児童家庭支援センター きずな TEL 073-460-8044 相談時間 平日 9:00～18:00

相談無料 秘密厳守

和歌山児童家庭支援センターの職員さん3人がお寺に来てくださいました。同センターは、虐待や不登校など子供に関する事ならなんでも相談に乗ってくれます。インターネットで「おてらおせつクラブ」のことを知り、そのホームページで善称寺を知ってくださり、どのような支援をしているのか聞きにきてくださったのです。

今まで意識していませんでしたが、職員さんから質問をいただくことで、お寺もそれなりの数の相談を受けていることを自覚した反面、個々の問題の解決には至っていないことも改めて実感しました。

仏教を伝えることが、問題解決に繋がるかということ、実は実感できていません。情けないことに現実を目の前に答えが出せないことがほとんどです。しかし仏教は現実に即ち教えですので、まだまだ勉強不足だということでしょう。同席された臨床心理士の女性は、「仏さまに手を合わせるといったことは、現代人の抱える心の問題解決に何らかの役割を果たせると思っています」とおっしゃっていました。

